

3類型	農林水産物、鉱工業品	通巻番号	3-21-136
地域資源名	ぶどう、山梨県産ワイン	認定日	平成22年2月10日
地域	山梨県甲州市	所管省庁	財務省、農林水産省、 経済産業省

事業名：「若ぶどう」を原料とするフレッシュ・スパークリングワインの製造・販売

会社名：株式会社シャトー勝沼

所在地：山梨県甲州市勝沼町菱山4729

連絡先：TEL：0553-44-0326
FAX：0553-44-3130

H P：http://www.chateauk.co.jp/

事業概要(新たな活用の視点)

当社は明治10年勝沼に創業して以来、一貫して味・香り・素材・製法において“こだわりのぶどう・ワイン造り”に徹してきた当地域も農業従事者の高齢化や労働力・後継者不足および遊休農地の増大等は地域産業活性化のための大きな課題となってきた。

当事業は、従来熟してない間引きの廃棄物であった「若ぶどう」を生産資源として利活用することにより、製造原価の低減や、ぶどう生産農家には、高度な栽培技術を要しないスパークリングワイン醸造用の「若ぶどう」の栽培に取り組み、労働維持にもなることが期待される。また地域の環境・景観保全や高齢者、離散農家等の雇用拡大にも繋がる。



売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

商品コンセプトは「若ぶどう」を原材料にし、酸味、香りと豊富なミネラルを最大限に活かした一般消費者が日常的に楽しめる本格的な国産のスパークリングワインである。早い時期に収穫する「若ぶどう」を原料とするため、ワインの新酒よりも早く製造、販売できる。初夏にビールに変わる飲料としても、競合製品との優位性が訴求できる。

◆市場性

消費者の健康や食の安心・安全や環境、地産地消志向や海外では和食ブームもあり、特に女性層を中心に、国産・県産ワインに対する関心は拡大し、低アルコール市場の需要規模も増加傾向にある。

◆販路

・既存の酒販問屋、直販及び都内ホテル、百貨店、宴会場等



【当社全景】



【試作イメージ品】

地域資源における関係事業者との連携

- ・地域農業関係者(ぶどう農家、他ワイン醸造会社)との協働
- ・商品研究開発は地元大学・ワイン醸造センターと連携



【若ぶどう間引き作業】